【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2017-177060(P2017-177060A)
【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-038
【出願番号】特願2016-72063(P2016-72063)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　29/69　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/86　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/90　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/08　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　29/69　ＺＡＢＡ
Ｂ０１Ｄ　53/86　２２２
Ｂ０１Ｄ　53/90
Ｆ０１Ｎ　3/08　Ｂ
Ｆ０１Ｎ　3/10　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和1年12月19日(2019.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
燃焼排ガス中の窒素酸化物を窒素に還元して除去する燃焼排ガス浄化方法に用いられ、該燃焼排ガスには、該窒素酸化物を還元するための還元剤としてアルコールが添加される、排ガス浄化触媒に用いられる担体を評価する方法であって、
担体となる一つのゼオライトについて、事前に該ゼオライトの表面に含まれる水分を焼成加熱により除去したうえ、フーリエ変換赤外分光装置により、当該ゼオライト骨格内のＡｌ－ＯＨのスペクトルのピークを積分することによりＡｌ－ＯＨスペクトルのピーク面積（Ａ）を測定し、
該ピーク面積（Ａ）を、上記フーリエ変換赤外分光装置による測定に用いられたゼオライトの測定担体重量（Ｗ）で除した値（Ｓ）を算出し、
該値（Ｓ）の測定を、複数種のゼオライトについて同一のフーリエ変換赤外分光装置を用いて同一の測定条件下に行い、
次に、各ゼオライトを担体とする排ガス浄化触媒を調製し、調製された各排ガス浄化触媒について、窒素酸化物を還元するための還元剤としてアルコールを添加した排ガスの浄化試験を行って、その脱硝率を測定し、
各ゼオライトが有する値（Ｓ）と脱硝率との相関関係を求め、望ましい脱硝率を得るための値（Ｓ）の範囲を指標として決定する
ことを特徴とする排ガス浄化触媒に用いられる担体を評価する方法。
【請求項２】
請求項１の方法により評価されたゼオライトである担体と、該担体に担持された脱硝触媒金属とからなる排ガス浄化触媒。

【請求項３】
前記ゼオライトは、ＦＥＲ型構造を有する、請求項２に記載の排ガス浄化触媒。
【請求項４】
前記脱硝触媒金属は、Ｂｉである、請求項２に記載の排ガス浄化触媒。
【請求項５】
前記値（Ｓ）が請求項１の方法により決定される望まれる脱硝率に相当する値（Ｓ）の範囲内になるまで、不活性ガス雰囲気下においてゼオライトを焼成する処理を行う、排ガス浄化触媒に用いられる担体の調製方法。
【請求項６】
請求項５により調製されたゼオライトである担体と、該担体に担持された脱硝触媒金属とからなる排ガス浄化触媒。
【請求項７】
前記ゼオライトは、ＦＥＲ型構造を有する、請求項６に記載の排ガス浄化触媒。
【請求項８】
前記脱硝触媒金属は、Ｂｉである、請求項６に記載の排ガス浄化触媒。